

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 21 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2016

課題番号：24320048

研究課題名(和文) 中世近世国文学における中国文学受容の研究－和漢聯句と抄物を中心として－

研究課題名(英文) The reception of Chinese literature in Japanese literature from the medieval age to the early modern age. -With special emphasis on Wakan renga and Shomono.

研究代表者

大谷 雅夫 (otani, masao)

京都大学・文学研究科・名誉教授

研究者番号：80152172

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,600,000円

研究成果の概要(和文)：共同研究は、二つの研究会に分けて行った。まず和漢聯句の研究会では、江戸時代初期の慶長元和年間に作成された和漢聯句作品を収集し、その崩し字を通行の字体に翻字し、さらにそれを詳細に注釈した。研究会は月に一度、研究分担者のほか院生・学生ら十数名が出席した。その成果の資料集は、科研費の出版助成を得て、来年二月までに刊行の予定である。もう一つの研究会では、中国宋代の詩人黄庭堅の漢詩に中世日本人が注釈を施した抄物である建仁寺両足院蔵『黄氏口義』の読解をすすめて、これも月に一度の研究会により、その序文と漢詩十三首の注の翻字と詳細な注釈の作業をすすめた。こちらの成果も刊行の準備をしている。

研究成果の概要(英文)：Our collaborative study consisted of two separate study groups. (1) Wakan Renku study group; we explored the Wakan-Renku poems from the Keicho-Tenna era (early Edo period), and transliterated the hand-written manuscripts. We then added a detailed commentary to each poem. We held monthly meetings chaired by a study leader, which was attended by more than 10 undergraduate and graduate students. The final results are due to be published with the Grant-in-Aid publication's support by February 2018. (2) Shomono study group; we studied the Shomono materials on poems of the Chinese poet Huang Tingjian (Song Dynasty). This is "Koshi-Kugi"; a collection of commentaries made by Medieval Japanese scholars. The manuscript is held by Ryosokuin, Ken-ninji Kyoto. We organized monthly study meetings, where we have transliterated the preface and 13 poems by Huang Tingjian and added our own detailed commentaries. We are planning to publish the study results of "Koshi-Kugi" as well.

研究分野：日本文学

キーワード：和漢聯句 抄物 黄山谷 黄氏口義 慶長・元和 林宗二

1. 研究開始当初の背景

和漢聯句は中世から近世にかけての宮廷を中心として、皇族、貴族、禅僧、連歌師たち当代一流の知識人の楽しんだ文芸であったが、和句と漢句とを連想のままに続けるという形式は現代の国文学者の関心の対象になりにくく、またあまりに難解すぎることもあり、その重要性は認識されながらも久しく研究の手の及ばないものであった。その文学史研究、文化史研究の空白を埋めるべく、平成14年～平成19年、京都大学文学研究科21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」の「極東地域における文化交流」班(代表川合康三)は室町時代の和漢聯句の研究に着手し、それを科学研究費基盤研究(B)「和漢聯句の研究」(代表大谷雅夫、平成19年～平成22年)による研究会が継承した。そして、その成果として、『室町前期和漢聯句資料集』(2008年3月)、『室町後期和漢聯句資料集』(2010年3月)の二冊と、さらに四冊の和漢聯句百韻の詳注を刊行してきた。

2. 研究の目的

室町時代の和漢聯句作品に続いて、近世初期の和漢聯句作品を読解し、その資料集を刊行する。そして、和漢聯句作品を正確に読解するためには中世近世の知識人が共有した漢文化の教養がどのようなものであったかを知り、それを読みこなす必要があるため、室町時代の禅僧たちが中国詩文を注釈した抄物と呼ばれる書物の研究を進め、その公刊を目指す。

3. 研究の方法

和漢聯句の研究会と抄物の研究会を同時並行して開き、和漢聯句作品の翻字を進め、その読解の力を養うとともに、抄物の研究会では中世禅僧が愛読した黄山谷の詩の抄物を会読し、その注釈を作成する。

4. 研究成果

二つの研究会のうち、和漢聯句の研究会では、科学研究費助成事業「和漢聯句の研究」(基盤研究(B)、課題番号19320036)における研究活動を引き継ぐ形で、五年間のうちに和漢聯句作品の収集と翻刻作業、ならびに研究会における資料の輪読を進めた。すでに上記事業において『室町前期和漢聯句資料集』(2008年3月)、『室町後期和漢聯句資料集』(2010年3月)の二冊を刊行しており、今回の研究ではそれに引き続いて、慶長期(1596-1615)・元和期(1615-1624)に成立したことが明らか

な和漢聯句作品を研究の対象とした。この時期の作品には、後陽成天皇や後水尾天皇を中心とした公家をはじめ、英甫永雄・西笑承兌などの五山僧、紹巴ら連歌師等、当時の各種文芸を代表する人々が一座している。当時の文芸を代表する人々の活動や交流の有り様、及びその作風についてさらに多くのことが明らかにできる資料である。はじめに資料収集と翻刻作業が進められた。慶長元和期の作品は『連歌総目録』(明治書院、1997)及び国文学研究資料館提供の連歌・演能・雅楽DB(http://base1.nijl.ac.jp/infolib/meta_pub/G0004017REG)を用いて所蔵者を確認し、影印の収集を行った。また、翻刻作業の多くは研究分担者である楊昆鵬氏が行い、それを元にして、他の研究分担者らを中心に校訂を行った。対象とした作品数はおよそ80である。研究会は概ね一ヶ月に一度のペースで開催し、研究分担者を中心に京都大学内外の研究者・学生合わせて約20名による和漢聯句資料の輪読・検討会を行った。専門分野の異なる参加者が意見を交換することで、多角的かつ正確な本文読解を行うことができた。また、特に伝本が複数存在する作品を扱い、読解に加えて、より適切な本文の復元をも目指した。五年間で輪読した作品数は28にのぼり、これらの検討結果は先述した翻刻本文の校訂にも資するところが大きい。以上の成果は、2018年2月に刊行を予定している『慶長・元和和漢聯句作品集』として公開される予定である。

二つ目の抄物研究会は、「中世近世国文学における中国文学受容の研究」というテーマにふさわしい資料として、中国宋代の詩人黄庭堅(黄山谷)の漢詩に中世日本人が注釈を施した抄物を取り上げ、研究を行った。具体的には建仁寺両足院蔵『黄氏口義』(山谷詩私抄、山谷私抄とも。二一巻、二二冊。林宗二筆。1560-1567写)を対象とする黄氏口義研究会を立ち上げ、その読解をすすめた。

研究会は2012年6月から開始し、2016年度末までに合計三十五回の研究会を開催している。本書は第一冊が序に相当するため、第二冊から読み進め、2016年度末までに第二冊の序文と漢詩十三首(古詩二種から秋思寄子由まで)について詳細な読解をすすめた。研究会は現在も継続中であり、間もなく第二冊を読み終えるところである。

『黄氏口義』は林宗二が諸注を集成したものとされ、主材料は一韓抄(一韓智翹)と幻雲抄(月舟寿桂)だと言われる。そのため、研究会では『黄氏口義』と一韓抄・幻雲抄との比較を中心に、先行の抄物である帳中香なども視野に入れ、『黄氏口義』の注文の成立と構成について議論した。加えて、黄庭堅の詩そのもの、中国宋代の任淵注、さらには黄氏口義の注に見られる語や表現の出典について考証した。同時に、抄物の注文に用いられる日本語表現に検討を加えるという形で研究会はすすめられることが多かった。参加者は

本研究の関係者を中心に、学内外の大学院生、若手研究者を含む十名から二十名程度であった。

また、研究会の一環として、2017年1月7日に抄物講習会を開催し、三十名程度の参加があった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計16件)

大山 和哉、川崎 美穂、河村 瑛子、中村 健史、野澤 真樹、慶長五年十二月二十日和漢聯句訳注(上)、京都大学国文学論叢、査読有、37号、2017年、39-61

http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/advance/bitstream/2433/222641/1/kkr00037_039.pdf

蔦 清行、中世文化人たちの蘇東坡と黄山谷、日本語・日本文化、査読無、44号、2017年、1-30

<http://hdl.handle.net/11094/60416> / DOI:10.18910/60416

楊 昆鵬 『鳳城聯句集』訓註稿(二) 京都大学国文学論叢、査読有、第35号、2016年、147-171

楊 昆鵬 『鳳城聯句集』訓註稿(三) 京都大学国文学論叢、査読有、第36号、2016年、96-121

楊 昆鵬 和漢聯句における白居易の受容 白居易研究年報(勉誠出版)第15号、2015年、234-260

楊 昆鵬 『鳳城聯句集』訓註稿(一) 京都大学国文学論叢、査読有、第34号、2015年、115-128

大谷 雅夫 芭蕉・素堂両吟和漢俳諧歌仙「破風口に」注解(二) ビブリア、143号、2015年、39-53

大谷 雅夫 芭蕉・素堂両吟和漢俳諧歌仙「破風口に」注解(四) ビブリア、145号、2015年、23-34

小山 順子 『文明十六年二月和漢千句』考-付、第五百韻・三つ物翻刻-、『京都大学国文学論叢』、査読有、32号、2014年、23-38

小山 順子、後土御門天皇の和漢聯句御会懐紙考、『国語国文』、査読有、83巻12号、2014年、24-42

楊 昆鵬 中村 健史 国立国会図書館蔵策彦紹巴両吟和漢千句翻刻と解題 京都大学国文学論叢、査読有、第32号、2014年、39-63

大谷 雅夫 芭蕉・素堂両吟和漢俳諧歌仙「破風口に」注解(一) ビブリア、142号、2014年、3-16

大谷 雅夫 芭蕉・素堂両吟和漢俳諧歌仙「破風口に」注解(三) ビブリア、144号、2014年、50-68

小山 順子、『三代集仮名句題和歌』翻刻と紹介 付・句題典拠一覧、『山邊道』、査読無、第54号、2013年、29-65

小山 順子、和漢聯句 - 後土御門天皇の内々御会をめくって -、アジア遊学 155 『もう一つの古典知 - 前近代日本の知の可能性 -』(勉誠出版)、2012年、70-75

楊 昆鵬 和漢聯句にみえる友情の連想 国語国文 査読有、第81巻第10号、2012年、18-38

(学会発表)(計12件)

蔦 清行 建仁寺両足院蔵『黄氏口義』、『黄氏口義』研究会開催抄物講習会、2017年1月7日、京都大学文学部

山中 延之 抄物概説、『黄氏口義』研究会開催抄物講習会、2017年1月7日、京都大学文学部

山中 延之 桃源瑞仙『史記抄』に見られる過去・完了の助動詞 タシを中心に、京都府立大学国中文学会、2016年12月10日、京都府立大学稲森記念会館

楊 昆鵬 聯句と和漢聯句 - 漢故事の利用から政治性を探る(武蔵野大学国文学会平成28年大会) 2016年11月5日、武蔵野大学

楊 昆鵬 和漢聯句における政治性 - 後陽成院晩年の和漢聯句を中心に(和漢比較文学会第35回大会) 2016年9月25日、成城大学

楊 昆鵬 聯句研究の諸問題(グローバル時代の日本語教育・日本研究国際シンポジウム) 2015年12月25日、中国・広州・暨南大学

楊 昆鵬 近世初頭堂上文壇の漢詩創作 後陽成院聯句を中心に(第十二回東アジア比較文化国際シンポジウム) 2014年10月25日、中国・杭州・浙江工商学院

楊 昆鵬 和漢聯句における白居易の受容
(和漢比較文学学会大会) 2014年9月21日、
群馬県立短期女子大学

楊 昆鵬 和漢聯句から見る詩歌創作の訓
読(日本「訓読」の歴史と変化) 2013年12
月28日、中国・上海・復旦大学

楊 昆鵬 日本の聯句 漢文学吸収と創作
の現場 (第二回東アジア漢文学国際学術会
議) 2013年12月8日、韓国・ソウル・東
国大学

楊 昆鵬 日本古典韻文における孝の表現
和漢聯句を中心に (東アジアにおける孝
文化の伝承と発展国際シンポジウム) 2013
年11月3日、中国・北京・清華大学

楊 昆鵬 和漢聯句の研究 和・漢文学の融
合を双方向的アプローチから (香港第九回
国際日本語教育・日本研究シンポジウム)
2012年11月24日、香港・城市大学

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大谷 雅夫 (OOTANI, Masao)
京都大学・名誉教授
研究者番号: 80152172

(2) 研究分担者

竹島 一希 (TAKESIMA, Kazuki)
熊本大学・大学院人文社会科学部(文)・
准教授
研究者番号: 10733991

小山 順子 (KOYAMA, Junko)
国文学研究資料館研究部・准教授
研究者番号: 20454796

金光 桂子 (KANAMITU, Keiko)
京都大学文学研究科・教授
研究者番号: 30326243

緑川 英樹 (MIDORIKAWA, Hideki)
京都大学文学研究科・准教授
研究者番号: 30382245

阿尾 あすか (AO, Asuka)
奈良学園大学・人間教育学部・専任講師
研究者番号: 30523360

中村 健史 (NAKAMURA, Takesi)
神戸学院大学・人文学部・准教授
研究者番号: 50753505

大槻 信 (OOTUKI, Makoto)
京都大学文学研究科・教授
研究者番号: 60291994

楊 昆鵬 (YOU, Konhou)
武蔵野大学・文学部・准教授
研究者番号: 60712180

宇佐美 文理 (USAMI, Bunri)
京都大学文学研究科・教授
研究者番号: 70232808

河村 瑛子 (KAWAMURA, Eiko)
京都大学・文学研究科・助教
研究者番号: 80781947

薦 清行 (TUTA, Kiyoyuki)
大阪大学・日本語日本文化教育センター・准
教授
研究者番号: 20452477

山中 延之 (YAMANAKA, Nobuyuki)
京都女子大学・文学部・講師
研究者番号: 00782591

長谷川 千尋 (HASEGAWA, Chihiro)
京都大学・人間環境学研究科・准教授
研究者番号: 90431296